

## 経営・流通学研究科 経営・流通専攻 博士前期課程

### 【教育目標】

経営・流通学研究科では、激動するビジネス環境のなかで発生する諸課題を解決し、新たなソリューションを提示し、ビジネス社会の発展に貢献しうる専門職業人・研究者を育成するため、次の教育目標を掲げる。

- ・グローバルな視点に立って経営を取り巻く経済社会の変化を俯瞰し、読み解き、分析できる能力を養う。
- ・経済社会の変化を分析し、課題を抽出し、その課題に対して解を導き出す能力を養う。
- ・問題設定から結論を導き出すまでのプロセスをまとめて論文にする能力を養う。

### 【ディプロマ・ポリシー】

経営・流通学研究科では、激動するビジネス環境のなかで発生する諸課題を解決し、新たなソリューションを提示し、ビジネス社会の発展に貢献しうる専門職業人・研究者を育成するために掲げた教育目標に基づき、以下の知識・能力を身につけた者に対して修士（経営学）の学位を授与します。

- ・国際的かつ中長期的な産業経済社会の変化に対する深い理解力と分析力。
- ・研究分野における喫緊の課題を体系的かつ連携的に考察する応用力のある基礎的研究能力と専門能力。
- ・研究者としての倫理観を身につけていること。
- ・これまでに修得し、蓄積した知識を結集して修士論文を作成する能力。

### 【カリキュラム・ポリシー】

ディプロマ・ポリシーで掲げる知識・能力を養うための体系的な履修プログラムとして、5つの研究コース（会計・ファイナンス、企業経営・経営戦略、流通戦略、ビジネス情報、サプライチェーン）を設定し、経営・流通学の基礎知識を修得するベーシック選択科目と各コースの専門知識を修得するアドバンス科目から編成し、以下のような教育課程を編成・実施します。

- 1.経営・流通学の理論、企業活動についての高度な学識を身につけることができ、多角的な視点から創造的な研究ができる能力を養うため経営・流通学の専門分野の特論を提供する。
- 2.1年次に演習1、2年次に演習2を設定し、各専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して独創的な研究論文を作成することができる能力を養うため指導教員が指導をおこなう。
- 3.修士論文の作成にあたっては、2年次に中間報告会にて発表を実施し、指導教員とともに様々な分野の教員が指導をおこなう。
- 4.完成論文の発表をおこなう最終報告会を実施し、より完成度の高い論文を目指す。

### 【アドミッション・ポリシー】

I T化、グローバル化した企業の諸活動に関する基礎知識を身につけたうえで、国際的かつ中長期的な視野とシステム思考に立った経営革新と流通革新の担い手として、専門的な知識と高度な問題解決能力と経営システムの構築能力を具えた、創造力豊かな専門職業人および研究者を目指す、以下のような学生を求めます。

（求める学生像）

- 1.グローバルな活動をする企業の実態を理解している。
- 2.企業活動においてI Tが果たしている役割を理解している。
- 3.それぞれの分野における企業活動を取り巻くビジネス環境を理解している。
- 4.企業が抱える課題に対して解を導き出すことに強い関心があること。

(選抜方法)

入試名称 求める学生像	推薦	一般	社会人	留学生
1	○	○	○	○
2	○	○	○	○
3	○	○	○	○
4	○	○	○	○

改正 2022年2月25日